

IT利活用分野について

経済産業省 商務情報政策局
情報処理振興課

IT利活用分野について

- IT利活用分野については、前回会合のとおり、対象とする分野について、背景、産業界のニーズ、目指すべき人材像、業界への影響などを総合的に勘案の上、検討を行う必要がある。

<参考> 第1回検討会資料（IT利活用分野について）

- ITの利活用については各産業分野において多種多様なニーズがあるが、IT分野と同様に、第4次産業革命の下で急速な産業構造の転換に対応し、企業・産業の競争力強化に資する人材を育成することが重要。
- 単なるITの導入による経営効率化・業務効率化にとどまらず、ITを利活用することでどのような付加価値を生み出せるか、社会的要求や構造変化に対応できるか、育成したIT利活用人材によって業界全体としてどのような課題に対処し、変革を促していけるかといった観点で検討することが必要ではないか。
- また、業界として目指すべき人材像や人材育成の背景についても、明確にしておく必要があるのではないか。

IT利活用分野の対象について

- 今回は、現時点で、前述の要件を満たす以下の分野について、認定の対象とすることとしてはどうか。
(今後、産業界のニーズや産業構造の変化に応じて、追加等を行う。)

対象とする分野の例

分野	概要	参考
ものづくり分野	<ul style="list-style-type: none">✓ 人口減少下において、基幹産業であるものづくり産業は労働生産性向上や、ビジネスモデルの変革に貢献する人材の確保・育成が急務✓ 特に、ものづくりの各分野の共通の課題として、IT人材の育成加速化の取組が求められている✓ こうした人材の確保を通じて、経営革新を図り、産業競争力強化へ	資料5
	<p>例1：モデルベース開発 自動車エンジニアが、シミュレーション技術を活用した開発・検証手法を身に付け、開発スピードの高度化を図ることで、自動車産業の国際競争力強化へ</p> <p>例2：デジタルエンジニア ものづくり中堅技術者が、デジタルデータに基づく設計・製造・納品に対応するシミュレーション技術等を使いこなし、ものづくり中小企業の競争力強化へ</p>	資料6

IT利活用分野の対象について

対象とする分野の例

分野	概要	参考
物流（ロジスティクス）分野	<ul style="list-style-type: none">✓ 物流（ロジスティクス）分野では、人手不足やグローバル化、通販拡大により、課題が複雑化✓ これら複数の課題を総合的に解決するため、IoT、BD、AI等の技術を活用できる高度な人材の育成が強く求められている✓ データの利活用及び最適なSCMの構築ができるとともに、ロジスティクス運営管理を経営等の視点から考察できるマネジメント層の育成を目指す✓ こうした人材の確保を通じて、経営革新を図り、産業競争力強化へ	資料7
通信分野 IT分野（ネットワーク技術）	<ul style="list-style-type: none">✓ IoTや4K8K映像配信など進化し続けるデジタル・ネットワークにおいては、多様なデータの流通やトラヒック処理のため、ソフトウェアを活用した新たな運用・管理が不可欠✓ 通信事業者・ユーザー企業双方において、高度なネットワーク、コンピューティングスキルを身に付け、ソフトウェア資源を活用し、ICTサービス基盤であるネットワークを設計・構築・運用できる人材が求められている✓ こうした技術・人材の活用により、業界の変化に応えるとともに、ネットワーク上の様々なリソースの最適化による効率化を実現	資料8